

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	23-073	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
<p>Early-onset alcohol, tobacco, and illicit drug use with age at onset of hypertension: a survival analysis 高血圧の発症年齢とアルコール、タバコ、違法薬物の早期使用：生存分析</p>		
執筆者		
Wang K, Shafique S, Wang N, Walter SM, Xie X, Piamjariyakul U, Winstanley EL.		
掲載誌		
Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol. 2024 Jul;59(7):1129-1141. doi: 10.1007/s00127-023-02596-9.		
キーワード		PMID
高血圧、発症年齢、早期発症薬物使用、生存時間解析		38104055
要 旨		
<p>目的：アルコール、タバコ、違法薬物を初めて使用した年齢と高血圧の発症年齢（AAO）との関係に焦点を当てた研究はない。初めて薬物を使用した年齢および 18 歳未満での早期薬物使用と高血圧の AAO との関連性を検討した。</p> <p>方法：2015～2019 年における米国の薬物使用と健康に関する全国調査（NSDUH）から、高血圧の AAO 情報を有する 19,270 人を対象とした。アウトカムは高血圧の AAO とし、「高血圧と初めて診断されたとき、何歳でしたか？」という質問によって定義した。10 の薬物使用変数の初回使用年齢にはアルコール、タバコ、葉巻、無煙タバコ、マリファナ、コカイン、幻覚剤、リゼルグ酸ジエチルアミド（LSD）、吸入薬、メタンフェタミンが含まれた。薬物使用状況は、早期薬物使用（18 歳未満で初めて薬物を使用）、後期薬物使用（18 歳以降で初めて薬物を使用）、未使用の 3 カテゴリーに分類した。クラスター分析と Cox 比例ハザードモデルを使用した。</p> <p>結果：高血圧患者のうち 18 歳未満で薬物を早期に使用している人の割合は 2.4%(コカイン使用)から 45.6%(アルコール使用)の範囲だった。高血圧の平均 AAO は 42.7 歳だった。10 種類の薬物を初めて使用した年齢は、高血圧の AAO と有意な相関関係を認めた(すべての $p < 0.001$)。アルコール、葉巻、無煙タバコ、マリファナ、幻覚剤、吸入薬、コカイン、LSD、メタンフェタミンを早期に使用した人は、使用したことがない人よりも高血圧の発症が有意に早かった。Cox 回帰モデルでは、薬物の使用が無い人と比較して、早期にアルコール{ハザード比(HR):1.22, [95%信頼区間(CI): 1.13, 1.31]}、無煙タバコ[HR:1.36, (1.24, 1.49)]、マリファナ[HR:1.85, (1.75, 1.95)]、吸入薬[HR:1.41, (1.30, 1.52)]、メタンフェタミン[HR:1.27, (1.07, 1.50)]を使用した場合、高血圧 AAO リスクが上昇することが示された。</p> <p>結論：18 歳までの早期に薬物使用を予防することに重点を置いた介入戦略またはプログラムが、成人高血圧の発症を遅らせる可能性があることを示唆している。</p>		